

◇教科書 P.194～195 「クリスマスまでには帰れるさ」を読み、次のことについてまとめよう。

1 20世紀初めのヨーロッパの列強諸国の対立について（ ）にあてはまる言葉を書き入れよう。

○三国協商 = イギリス・( フランス )・( ロシア )

⇒ 海外の ( 植民地 ) や勢力圏を守りたい

○三国同盟 = ドイツ・( オーストリア )・( イタリア )

⇒ ( 植民地の再分割 ) を求め、勢力の拡大を図ろうとした

○バルカン半島は、民族の対立や領土をめぐる戦争があい次ぐ、不安定な情勢で、

( ヨーロッパの火薬庫 ) と呼ばれた。

2 第一次世界大戦の始まりについてまとめよう。日本がどのように関わったかも書こう。

(例)1914年6月にオーストリア皇太子夫妻が、サラエボでセルビアの青年に暗殺される事件が起こったことで、オーストリアがセルビアに宣戦した。その後、同盟国側と協商国側との間の戦争に発展し、第一次世界大戦となった。日本は、連合国側に加わったので、戦場はアジアにまで拡大した。

3 教科書 P.195 の 10 行目に「戦争の様子もこれまでとは大きく変わりました」とあります。第一次世界大戦がこれまでの戦争とどこが変わったのかまとめよう。

(例)

- ・戦争が長期化し、兵士の動員が増えた。
- ・女性や青少年が軍需工場で働いたり、植民地からも人々を兵士が動員されたりして、国力のすべてを戦争につき込むような総力戦の体制がつけられた。
- ・飛行機、戦車、潜水艦、毒ガスなどの新兵器が登場した。 など

◇教科書 P.196～197 「パンと平和、民主主義を求めて」を読み、次のことについてまとめよう。

1 ロシア革命が起きた経緯を簡単に整理しよう。

第一次世界大戦開戦直後

(例)前線での敗北が続き、都市で、食料や燃料の不足が深刻になった。

1917年3月

(例)ペトログラードで、女性や労働者などが、抗議行動に立ち上がった。ソビエトという自治組織が結成され、皇帝が退位した。

1917年11月

(例)レーニンが蜂起し、臨時政府を倒して、ソビエト政府を樹立した。

2 ソビエト政府とアメリカが示した平和原則で、共通しているのはどんな点か。本文や資料を参考に書こう。

(例)それぞれの民族のことは、自分たちで決める権利があるという「民族自決」の考え方

3 イギリス、アメリカ、フランス、日本が、ロシアに軍隊を派遣したのはどうしてだろう。

(例)ロシア革命の影響が、自国に及ぶことを恐れ、ロシア国内の反ソビエト勢力を支援して、ソビエト政府を倒そうとしたから。

◇教科書 P.198～199 「成金の出現」を読み、次のことについてまとめよう。

1 第一次世界大戦での日本の動きを整理しよう。

1914年

- ・ドイツに宣戦し、連合国として第一次世界大戦に参戦した。
- ・ドイツの軍事拠点や南洋諸島を占領した。

1915年

- ・中国政府に対して二十一か条の要求を提出した

1918年～1922年

- ・シベリア出兵をしたが、干渉に失敗する。
- ・国内外で批判が高まり、撤兵した。

2 大戦中の日本国内の動きをまとめよう。

- ・海運業や造船業がめざましい発展をとげた。
- ・薬品や化学肥料の国産化が進み、重化学工業が急成長した。
- ・生糸や綿糸・綿織物の輸出が急増し、繊維業が活発になった。
- ・電力が広く用いられるようになり、水力発電所が建設された。
- ・大戦景気によって「成金」出現し、財閥へと成長した。

3 第一次世界大戦が日本に与えた影響について、感じたことを書こう。

略

組 番 名前

---

◇教科書 P.200～201 「不戦の誓い」を読み、次のことについてまとめよう。

1 ベルサイユ条約では、どんなことが決められたのかまとめよう。

ドイツについて

- ・領土の一部と植民地の全てを失った。
- ・軍備の制限や巨額の賠償金の支払いが命じられた。

日本について

- ・中国におけるドイツの権益を受け継いだ。
- ・南洋諸島を委任統治領として獲得した。

2 大戦後に国際社会で起こった大きな動きを三つあげて、それぞれについてまとめよう。

○国際連盟の設立

- ・1920年日本を含めた42カ国が参加して発足した。
- ・スイスのジュネーブに本部が置かれた。 など

○軍備の縮小

- ・アメリカの提案でワシントン会議が開かれた。
- ・不戦条約が結ばれるなど、国際協調の気運が高まった。 など

○民主主義の拡大

- ・ドイツでワイマール憲法が制定され、普通選挙が行われるようになった。 など

組 番 名前

---

◇教科書 P.202～203 「わきあがる独立の声」を読み、次のことについてまとめよう。

1 第一次世界大戦後の朝鮮、中国、インドでの動きをまとめましょう。

朝鮮

- ・1919年、京城で朝鮮の独立が宣言されたのをきっかけに、独立を求める運動が全土に広がった。
- ・軍隊や警察と衝突が起き、多くの死傷者や逮捕者が出た。(三・一独立運動) など

中国

- ・1919年、北京の学生らが反日運動を起こしたことをきっかけに、帝国主義に反対する運動が全国に広がった。(五・四運動) など

インド

- ・ガンディーらが、完全な自治を求めて「非暴力・不服従」の運動を起こし、イギリスからの独立運動を進めた。 など

2 「歴史の窓 日本人がみた三・一運動」を読んで感想を書こう。

略

◇教科書 P.204～205「憲政の本義を説いて」を読み、次のことについてまとめよう。

1 「民本主義」について説明しよう。

- ・ 政治学者吉野作造が唱えた民意に基づいた政治を行うための考え方。
- ・ 美濃部達吉の憲法についての考え方とともに支持を集め、政党を中心とした政治を求める世論を高めることになった。

2 資料5「総物価・米価と賃金の移り変わり」のグラフを見て、1918年の前後で総物価・米価・賃金はどのように変動したか説明しよう。

- ・ 1917年から1919年にかけて、総物価・米価・賃金ともに上昇している。総物価と米価は賃金を上回る幅で上昇し、特に米価は、2倍以上に急上昇している。
- ・ 米価の上昇は、国民生活を直撃したと考えられる。 など

3 原敬内閣の特徴と当時の時代背景の関係をまとめよう。

- ・ 藩閥や官僚ではなく、後ろだてとするのではなく、閣僚を立憲政友会の党員が占める政党内閣だった。政党政治を推し進めた背景には、デモクラシーの風潮の高まりがあった。